



新商品のピアチェーレ



令和8年度 事業計画

一般財団法人 笠間市農業公社

令和8年度 基本方針

〇テーマ

経営自立化

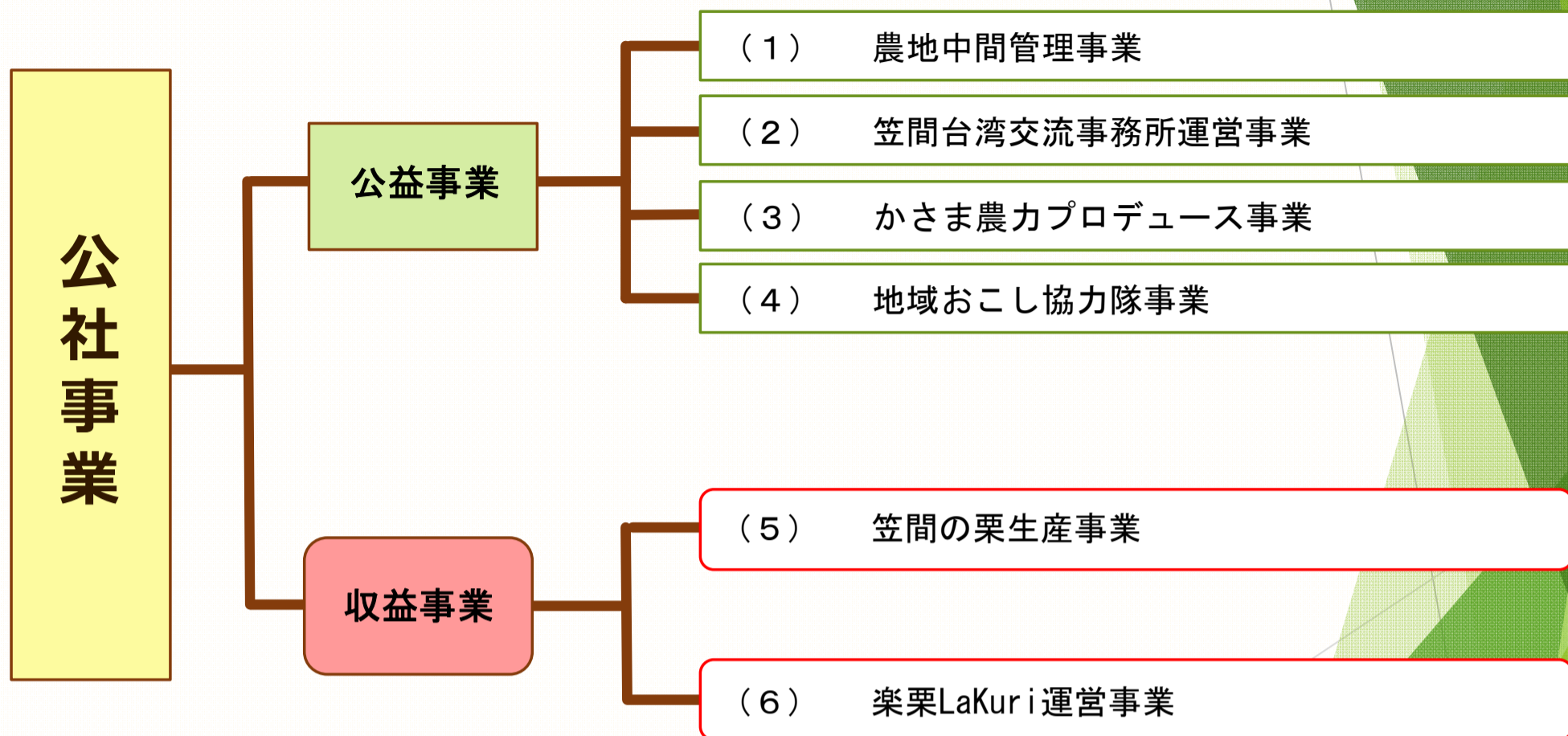
自立化に向け収益事業の強化

- | | |
|------------------|---------------------|
| ① ‘楽栗LaKuri運営事業’ | 主力商品の販売力強化および新商品開発 |
| ② ‘笠間の栗生産事業’ | 有機JAS認証を付加価値とした販売戦略 |
| ③ ‘笠間の栗生産事業’ | ほ場の拡大に伴う効率的な維持管理 |

令和8年度 特筆事項

- ① ‘地域おこし協力隊事業’ 1名増員予定

令和8年度 公社事業一覧



公益事業

予算額: 471万円

(1) 農地中間管理事業

概要

- 規模縮小・経営転換を希望する地権者から農地を借り受け
- 規模拡大・新規就農を目指す担い手へ貸し付け
 - 農地の集積・集約化を推進

課題：再配分遅延および担い手紹介体制への対応方針

- ① 解約増加により再配分決定までに時間を要している
 - 未利用期間が発生し、荒廃が進行する可能性
- ② 新規就農者・就農希望者への情報提供体制が十分ではない
 - 既存経営体との間に情報格差が生じている

上記課題に対応するため、

再配分手続の標準化および担い手への情報提供機会の均等化を図る



解約により荒廃した農地（笠間市内）

(2) 笠間台湾交流事務所運営事業

民間活力による持続的な活動展開 (R8~)

- 専門業務を地元民間企業にアウトソーシングし、ターゲットを明確にした効果的なプロモーション
- 築き上げたネットワークを活かした各分野における持続的で安定的な提携
- 台湾事務所運営の適正化
 - ・ 現地台湾人スタッフを2名から1名に削減
 - ・ 事務所は小規模の部屋に移転



笠間の栗 モンブラン野球場PRイベント

(3) かさま農カプロデュース事業

1. 学校給食における台湾フルーツ購入事業

- ・ 2品目: 台湾パイナップル・台湾バナナ
- ・ 県内各自治体の食を通じた交流関心拡大と交流活発化に貢献
- ・ 過去の学校給食側要望傾向を台湾側と共有し納品改善を検討



交流給食でのふれあい (笠間市)

2. 農産物PR事業

a) 国内

- ・ 都内ホテル等への笠間市産食材販売（卸）
- ・ 市内病院の出産祝い膳食材販売（卸）

b) 台湾

- ・ 台湾側の栗供給受入れと菓子開発とPR連携推進
- ・ 輸出実践（市事業の委託等）

3. グリーンツーリズム事業

酒米田んぼオーナー制度

- ・ 県内外問わずオーナー獲得に向けてPR強化
- ・ イベント参加者に次回のイベントの周知



酒蔵見学ツアーの様子

（4）地域おこし協力隊事業

新たな協力隊員の受入れ

- ・ 荒木隊員（3年目 女性）＋新隊員（男性）
- ・ 市と連携した栗の担い手確保へ

活動サポート

- ・ 新規就農（栗）に向けた活動
- ・ 栗ほ場整備作業、栗選別作業、自主研修
- ・ 隊員の得意分野を活かせる体制の確保

有機JAS認証看板イメージ図



楽栗新商品撮影



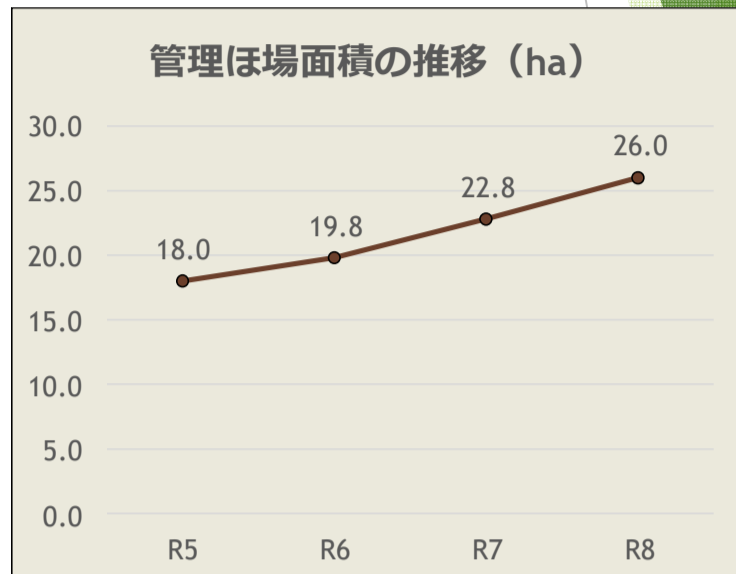
生栗販売促進カードの作成

(5) 笠間の栗生産事業

生産部門 ほ場の拡大に伴う効率的な維持管理の模索

22.8ha (R7年度) → 26.0ha (R8年度)

- 前年比 約14%増
- 『笠間の栗』水田畑地化モデル事業 (笠間地内) により更に増加予定 (1ha)



規模拡大を前提とし、生産性の低いほ場の見直しを含めた管理資源の最適配分を図る

販売部門 有機JAS認証取得を踏まえた販売戦略の方向性

■ 現状

- ・主収益: 生栗、栗ペースト
- ・令和7年度 有機JAS認証取得

■ 基本方針

- ・収益基盤は生栗・ペースト販売を中心に維持
- ・既存卸売先との安定取引を維持

■ 令和8年度の方向性

- ・有機JAS認証を活かした付加価値の高い商品の展開を図る

販売形態		R7	R8
生栗	卸売	20.0t	20.0t
	直売	0.4t	0.4t
	卸売 (有機)	0.4t	1.0t
栗ペースト	17%	4.9t	5.0t
	35%	3.5t	3.5t

⇒ 有機栗を原料とした加工商品の開発・試験販売の検討

(6) 楽栗LaKuri運営事業

令和7年度営業実績

過去最高売上額を記録

- 販売機会を逃さず売り抜いた（繁忙期）
- 主力商品に絞ったメニュー構成（繁忙期）
- 新商品のヒット（ドッピオなど）

令和8年度営業方針

引き続き、販売機会を逃さず売り抜く

- 有機JAS認証栗を前面にアピール
- 新商品の開発（他店舗との差別化を図る）
- 待ち時間を少なくし、お客様のストレスを軽減（繁忙期）

